

びわ湖毎日マラソン大会 悪コンディションの中で存在感示す

3月1日(日)に滋賀県大津市にて「第70回びわ湖毎日マラソン大会」が行われ、中国電力陸上競技部から藤森憲秀、石川卓哉(初マラソン)、森本卓司、米澤類、清谷匠(初マラソン)の5名の選手が出場した。

冷たい雨が降る中レースがスタートした。スローペースでレースが展開するものの、降り続く冷たい雨が選手の体力を奪い、中間地点までに多くの選手が先頭集団から脱落した。レースが動いた30km地点では米澤選手しか先頭集団に残っていなかったが、25km地点まで4名の選手が先頭集団に食らい付き、徐々に中国電力陸上競技部の存在感を示すことができた。結果は米澤選手が2年連続一桁順位の8位、清谷選手15位、森本選手19位、石川選手20位、藤森選手77位と悪コンディションの中、どの選手も粘りをみせゴールした。この冬は中国電力陸上競技部のマラソンでの上位進出が目立った。徐々に活気つくチームの雰囲気から次年度への期待が膨らむ。陸上競技にはオフシーズンがなく4月からはトラック競技が始まる。選手たちの続く熱い走りを楽しみたい。



冷たい雨が降る中、2年連続一桁順位の8位に入った米澤選手(左)と初マラソン15位でゴールした清谷選手(右)



ワクナガレオリック

ワクナガレオリック 惜しくもプレーオフ進出ならず

2月28日、3月8日にリーグ戦2試合が開催された。

2月28日は豊田合成と対戦した。序盤は、両チームキーパーの好セーブで均衡した状態が続くが、ワクナガが6番野村浩輝選手、11番樋口睦選手などの得点でリードを広げ、19-7とワクナガの12点リードで折り返す。後半は、新人の3番松本崇聖選手の得点など37-21で大勝した。

翌週3月8日は、トヨタ紡織九州と対戦した。前日にプレーオフ進出の望みを絶たれたワクナガであったが、8番の小賀野龍也選手のミドルシュートで先制する。しかし、トヨタ紡織九州キーパーの好セーブと速攻で12-8とリードされて前半を折り返す。後半は、相手の退場もあり、2番谷村遼太選手、6番野村選手などのゴールで逆転する。しかし、残り2秒で相手選手に得点を決められ、23-23の引き分け。6位で最終戦を終えた。15季続いた、プレーオフ進出はならなかったものの来シーズンの巻き返しに期待したい。

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



広島東洋カープ
鈴木誠也選手

生年月日 1994年8月18日
身長 181cm
血液型 A型
出身地 東京都

担当者からのコメント

身体能力が高く、走攻守揃った選手に成長し、将来的にカープを背負ってくれることを期待。



広島メイプルレッズ

メイプル リーグ戦終了

第39回日本ハンドボールリーグのレギュラーシーズンが終了し、広島メイプルレッズは3位でシーズンを終えプレーオフ進出を決めた。そして迎えたプレーオフでは、準決勝でオムロンと対戦し、激しい攻防の末19対22で敗れた。来シーズンはぜひ優勝を勝ち取ってもらいたい。

また、これに伴い今シーズンが終了し、個人表彰が発表された。広島メイプルレッズからは、ベストセブンに宋海林選手(3年連続3回目)と高山智恵選手(4年連続4回目)が選ばれた。新人賞に松村杏里選手が選ばれた。フィールド得点賞に高山選手が108得点を挙げ輝いた。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



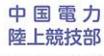
広島メイプルレッズ



広島ガスバドミントン部



NTT西日本広島ソフトテニスクラブ



中国電力陸上競技部



コカコーラウエストレッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局
〒733-0036
広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233
FAX:082-233-3251
URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



タイトル奪取へ！開幕戦好スタート

3月7日（土）、待ちに待ったJリーグが開幕した。サンフレッチェ広島はホームでヴァンフォーレ甲府と対戦し2-0で勝利した。試合は、前半10分にFW佐藤寿人選手が2015年J初ゴールを決めて先制に成功すると、後半42分には新戦力のFWドウグラス選手がヘディング弾を決めて、勝利を決定づけた。サンフレッチェ広島は昨年に続き開幕戦勝利となった。11シーズン連続でリーグ戦2桁ゴールを挙げている佐藤選手は今年も健在で、このゴールがJ1通算146点目で歴代3位の記録。通算149ゴールで2位のマルキーニョス選手（神戸）に3ゴールと迫っている。今年も広島の絶対的なエースとして新たな記録を作ってくれそうだ。

続く2戦目は、アウェイでJ2から昇格した松本山雅FCと対戦。柏好文選手、森崎浩司選手がゴールを決め、2-1で勝利し開幕2連勝となった。



先制ゴールを決めこぶしを突き上げる佐藤選手

広島電鉄サンフレッチェ電車運転

広島電鉄は、サンフレッチェ広島の応援企画として、「サンフレッチェ電車」を運行が今年も始まり3月2日（月）に横川駅電停にて行われた。車体に同チームのロゴやキャッチフレーズなどをラッピングがされており、車内には選手や過去の優勝シーンの装飾や、選手による停留所案内やマナー喚起などのアナウンスも行われる。このラッピング電車の運転区間は1号線（広島駅～紙屋町東～広島港間）で平成28年2月末までの運行予定となっている。



テープカットをおこなう柏選手



Do スポーツ教室開催

2月26日（木）、広島市立深川小学校でホッケー教室を開催し、講師は西田奈央選手、錦織えみ選手、金藤祥子選手、菅原梢選手、笠原佳乃選手の5名で行った。この教室は5年生男女78名を2組にわけ、体育館でスーパーホッケー（※）を行った。

小学生達は、選手たちにスティックを上手に使えるように指導してもらい、チーム対抗ドリブルリレーでは教わったことを生かしながらとても白熱していた。その後のシュート練習では回数を重ねるごとにGK菅原選手の守備にも負けないくらい強いボールが打てるようになった。

最後に、選手と小学生達が握手をかわし、今回のホッケー教室は無事終了した。

（※スーパーホッケーとは、使用するスティックとボールが全て特殊軽量プラスチックのため、体育館の床を傷つけることなくホッケーを楽しめるインドアホッケーのことをいう。）

黒田投手 オープン戦登板

3月8日(日)に東京ヤクルトスワローズとのオープン戦がマツダスタジアムで行われた。

メジャーリーグから8年ぶりにカープに復帰した黒田博樹投手が初の対外試合に登板し、5回途中、打者13

マツダスタジアムで
登板する黒田投手



人をパーフェクトに封じた。復帰登板は初回わずか5球で3者凡退にした。2回以降もリズム、制球よく5回1死まで1人の走者も出さなかった。5回先頭の畠山選手を空振り三振に仕留め、球数が予定していた球数を超えたため九里投手と交代した。チームは1-0で勝利し、緒方監督は本拠地・マツダスタジアムで初勝利を飾った。

3月15日(日)にオリックスバファローズとのオープン戦がマツダスタジアムで行われた。黒田投手がオープン戦2度目の登板をした。黒田投手は6回77球を投げ5安打2失点で勝利投手となった。

2015年 開幕1軍決定

開幕1軍メンバーが発表になった。ドラフト1位の野間峻祥選手、昨年後半戦に活躍を見せた鈴木誠也選手、昨年2軍で活躍した美間優槻選手らの若手が初の1軍スタートとなった。

投手	12 九里 亜蓮	15 黒田 博樹	18 前田 健太	20 永川 勝浩	30 一岡 竜司
	42 K. ジョンソン	56 中崎 翔太	58 M. ザガースキー	62 今井 啓介	
	70 D. ヒース				
捕手	27 會澤 翼	31 石原 慶幸	40 倉 義和		
内野手	4 小窪 哲也	6 梵 英心	13 J. グスマン	28 新井 貴浩	33 菊池 涼介
	59 美間 優槻	63 田中 広輔	66 木村 昇吾		
外野手	9 丸 佳浩	10 岩本 貴裕	37 野間 峻祥	44 松山 竜平	49 天谷 宗一郎
	51 鈴木 誠也				



アジアカップ国際ソフトテニス大会 女子優勝!

3月14日(土)・15日(日)の2日間、第19回アジアカップひろしま国際ソフトテニス大会が広島市中央庭球場で行われた。男子は、村上・中本ペア、水澤・長江ペア、堀・原ペアで達城郡庁(韓国)との準決勝に挑んだものの惜敗。第3位となった。女子は、順調に決勝まで進み、ヨネックスチームとの決勝戦を佐々木・大庭ペア、中野・小林ペア、水間・榎本ペアの布陣で挑み、見事優勝を収めた。今後も選手達の活躍に期待したい。

2/26~3/25 トップス広島 試合結果

広島東洋カープ

▽オープン戦

- 3/7 カープ ● 3-12 ○ ヤクルト
- 3/8 カープ ○ 1-0 ● ヤクルト
- 3/14 カープ ● 3-8 ○ オリックス
- 3/15 カープ ○ 9-2 ● オリックス
- 3/22 カープ ○ 1-0 ● ソフトバンク

サンフレッチェ広島

▽明治安田生命 J1 リーグ 1st ステージ

- 3/7 サンフレッチェ ○ 2-0 ● ヴァンフォーレ甲府
- 3/22 サンフレッチェ △ 0-0 △ 浦和レッズ

NTT 西日本広島ソフトテニスクラブ

▽第19回アジアカップ広島国際ソフトテニス大会

- 3/14、15
- 男子 3位 女子 優勝

ワクナガレオリック

▽リーグ戦

- 2/28 ワクナガ ○ 37-21 ● 豊田合成

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》

JT サンダーズ ファイナル進出決定！

勝てばファイナル進出が確定する重要な一戦となった、サントリーサンバーズとのファイナル6 第4戦。

第1セットは序盤から互いにサーブで崩し合う展開に。JT サンダーズは越川選手のサービスエースや、小澤選手と町野選手、そして深津選手の3枚ブロックなどで得点を重ねていく。しかし相手も譲らず、セット中盤まで追いついては引き離される我慢の展開となる。流れを大きく引き寄せたのは、18-21の場面。深津選手の長いトスをヴィソット選手が打ち切ると、続いて小澤選手のサーブを起点に堅い守備から連続4得点。23-21と、セット終盤で一気に相手を抜き去る。その後も筧本選手の速攻でセットポイントを奪うと、最後はヴィソット選手が強打を叩き込み、25-23。逆転で第1セットを奪取する。

第2セットは6-8とリードされた場面から越川選手のスパイクや筧本選手のサービスエース、ヴィソット選手と町野選手の2枚ブロックなどで連続4得点。10-8と逆転に成功する。しかし、セット中盤にかけては一進一退の攻防となる中、再び相手に逆転を許すと、16-19と3点差をつけられてセット終盤の戦いに突入。しかし、越川選手とヴィソット選手、小澤選手のサイド陣を中心に攻め立てながらじわじわと追い上げ、20-22の場面からは小澤選手のクロススパイクなどで2得点。22-22と同点に並び、そのまま譲ることなく試合をデュースに持ち込む。そして迎えた25-25の場面で、深津選手はセンター線の町野選手を選択。その町野選手が確実に速攻を決めてセットポイントを握ると、最後は相手のスパイクがアウトになり、27-25。終盤の競り合いを制し、第2セットも連取する。

第3セットに入っても、依然接戦の展開が続く。6-8とリードされて1回目のテクニカルタイムアウトを迎えるが、セット中盤にはチームの持ち味である堅いブロックラインが機能。町野選手と筧本選手を中心とした強固な壁で相手の強打を封じてブレイクを重ね、2回目のテクニカルタイムアウトを迎えたときには16-14と、形勢をひっくり返す。さらに、セット終盤にかけても相手に仕事をさせず、徐々に点差を広げていく。最後は、ヴィソットのライトスパイクできっちりと締めくくり、25-20でゲームセット。ストレートでサントリーを下し、翌日のファイナル6最終戦を残してファイナルへの進出を決めた。

また、「2014/15V・プレミアリーグ」全日程終了をもって、小澤翔選手が退部することが発表された。なお、小澤選手については、今後東海大学大学院に入学する予定だ。

2012年から3シーズンにわたり、ウイングスパイカーとして活躍。身長178cmとバレーボール選手としては小柄ながら、それを補って余りあるジャンプ力とスピード、卓越した精神力と学生時代からの豊富な優勝経験を武器に、「2013/14V・プレミアリーグ」ならびに「第63回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会」での準優勝、そして「平成26年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会」での優勝に大きく貢献した。現在開催されている「2014/15V・プレミアリーグ」でも、V・レギュラーラウンドのアタック決定率で個人ランキング3位に入るなど、高い実績を残している。



バドミントン教室開催

2月28日(土)、3月7日(土)、3月14日(土)の3日間、県内3か所にてバドミントン教室を行い、多くのバドミントン愛好者たちとふれあった。選手が基本的なところから丁寧に指導に当たった。最初は手こずっていた子供たちだったが、練習を重ねるうちにだんだんシャトルがラケットに当たるようになってきた。短い時間だったが参加者の方からは楽しんでもらえたようで選手たちも有意義な時間が過ごせた。これからもこのような活動を積極的に行い地域のスポーツ振興、普及を図っていきたい。

また、広島ガスは4月からシーズンに入る。今シーズンの活躍に期待したい。



基本的な動作をみんなで確認



参加者一人ひとりに丁寧に指導